

産業建設委員会記録

令和3年5月26日（水）
09時57分～12時52分
全 員 協 議 室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】西川議員、牛尾議員

【議長団】

【執行部】

（産業経済部）佐々木産業経済部長、大驛商工労働課長、
大谷産業振興課長（兼広島事務所長）、佐々木ふるさと寄附推進室長、
石原農林振興課長、岡田農林振興課副参事、永見水産振興課長、
岸本観光交流課長

（都市建設部）戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長（兼検査室長）、
皆尾建設整備課長、坂根地籍調査課長

（旭 支 所）西川旭支所長、新開旭支所産業建設課長

（弥 栄 支 所）外浦弥栄支所長、三浦弥栄支所産業建設課長

（三 隅 支 所）久佐三隅支所産業建設課長

【事務局】近重書記

議 題

1. 執行部報告事項

- (1) 令和4年度国県重点要望事項について 【産業経済部・都市建設部】
- (2) 令和2年度 萩・石見空港の状況について（報告） 【商工労働課】
- (3) 令和2年度 はまだ産業振興機構活動実績について（報告） 【産業振興課】
- (4) 令和2年度 浜田港の概況について（報告） 【産業振興課】
- (5) 令和2年度 ふるさと寄附の実績について（報告） 【ふるさと寄附推進室】
- (6) 令和2年度 広島事務所活動実績について（報告） 【広島事務所】
- (7) 令和2年 浜田市農業産出額について（報告） 【農林振興課】
- (8) 漁業別水揚げについて（報告） 【水産振興課】
- (9) 浜田漁港周辺エリアの施設整備状況について（報告） 【水産振興課】
- (10) 浜田市ふるさと体験村施設の活用について（報告） 【弥栄支所産業建設課】
- (11) その他

（裏面に続く）

2. 所管事務調査

(1) 浜田港周辺の整備状況について

【水産振興課】

3. その他

4. 産業建設委員会の取組課題について（委員間で協議）

5. はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について
（委員間で協議）

以上

【議事の経過】

〔 09 時 57 分 開議 〕

串崎委員長

ただいまから産業建設委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達しているため、ただちに委員会を開催する。

議題に入る前に4月1日付で人事異動になった管理職から一言ご挨拶いただきたい。また今回議題に該当がない管理職の方は、挨拶終了後は退席されて構わない。では順次お願いする。

《 以下、人事異動のあった管理職挨拶 》

串崎委員長

今後ともよろしく願います。

議題に入る。資料は事前にタブレットに配信し委員は読み込んでいます。執行部から補足説明があれば願います。また質疑・答弁は簡潔明瞭に願います。

1. 執行部報告事項

(1) 令和4年度国県重点要望事項について

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

商工労働課長

今回の国県重点要望の補足というより所管事務調査で浜田港周辺の整備状況について報告するが、その中で天然ガスの資源開発について質問があったと聞いているので、知事要望3の「島根県浜田沖合石油・天然ガスの資源開発促進について」に関連して、現状を報告させていただく。

これまでの要望活動が奏功し、国において前向きに検討していると伺っている。試掘権を持っているインペックスと調整を続けている。再試掘実現の可能性が高まっていると聞いている。残念ながら昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな調整が進まず、今年度改めてできる準備を進めたいとのこと。今年度中に再試掘実施の発表があることを期待している。

産業振興課長

新規要望が1件あるので課長から補足させていただく。

2ページ6番「重要港湾浜田港について」補足する。(3)の貿易振興に対する支援については、このたび新規に知事要望を出したことを報告する。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

継続して要望を開始してから何年くらいたったのか。

商工労働課長

海上自衛隊の要望については所管が防災安全課なので、こちらでは詳細が把握できていないが、恐らく当時私が防災にいたときから要望を始めているので、かれこれ10年ほどになるかと思う。

3番目のガス田の要望については平成28年に試掘作業が行われた。その後、国と事業所に対して平成29年、30年、令和元

建設企画課長

年と3回要望を行っている。県にはその間も協力いただいている。最初は知事要望としていたが、一度順調に進んでいるということで部長要望に格下げし、可能性が高まったことから昨年度から知事要望に格上げしている。今4年くらいになるかと思う。

産業経済部長
布施委員

矢原川ダム関係は、58年災害が起きてから要望に取り組んだと聞いている。今の形になったのが何年ごろかは承知していないが、ずっと昔から要望してきた経緯があり、着実に効果が出ていると思っている。

野藤委員

また調べて回答する。
要望は続けるべきだが、成果は完遂するまでだと思う。要望だけ上げて進捗が気になる国県への要望をしている以上、定期的に当委員会へ進捗や、先ほど課長から説明もあったが天然ガスの試掘の関係も順調なのか撤退したのか、越えねばならないハードルがどこにあるのか、そういうことを私たちも知ることで直接の支援はできないがいろいろな形で問題の協議はできると思うので定期的に報告してもらいたい。

産業振興課長

重要港湾浜田港の3番、新規であるが貿易振興に対する支援についての中で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界的なコンテナ不足に伴う海上運賃の急騰が続いている中とあるのがわかりにくい。コロナウイルスとの関連は。コロナウイルスで貿易量が減少してコンテナの流通、運送が減少して運賃が上昇しているのか。

野藤委員

アメリカの西部でコロナウイルスにかかって荷が入らないということで、物流が混乱しているため定期的に動いてないため海上運賃が上昇したと聞いている。

串崎委員長

コンテナが要るときに要るところにないという意味だと理解した。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 令和2年度 萩・石見空港の状況について (報告)

串崎委員長
商工労働課長
串崎委員長
布施委員

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

全国的に往来が禁止され、浜田市が支援している萩・石見空港にも打撃がある。前年の実績に対する報告もよいがほかの地方空港、中国管内なら出雲、宇部など、同じように打撃を受けていると思う。令和3年度についてもコロナの影響で非常に難しい。運行会社と協議会との2便化に向けた話し合いがどこまでできているのか。もし目標を達しなければ令和4年度から2便が1便になり時間帯が変わる可能性があるのか。実績

商工労働課長

が少ないのは承知しているが、2便化は継続できるのか。そうしないと再開してもよい提案はできないと考えている。

令和3年度も先行き不透明な形で、ほぼ1便運行。5月は10日ほど2便とも運行しない日もあったが、6月も当面1便運行と聞いている。島根県、協議会、全日空は対面での話は難しいが、オンラインで情報共有や必要に応じて協議をしているが、先行き不透明で今すぐどうこうはできない状況にある。予約状況を見ながら運行便を検討していると聞いている。こちらとしてはある程度2便が定着する段階に応じて、いろいろなことが提案できるよう準備を進めている。

布施委員

全日空から一人出向で空港に来ておられる。受け入れをすることでインセンティブなど、受け入れた空港については恩恵があるのか。

商工労働課長

全日空にしても日本航空にしても、売り上げが激減している中で、経営維持には悩んで取り組まれている。現在支援ということで全国至るところで受け入れはやっているのがそれがインセンティブにつながるかどうかかわからないが、良好な関係を築いて今後に向けて一緒にやっている状況である。

布施委員

ワクチン接種が始まり、機内での三密防止のため座席数の制限もされていると思うが、東京オリンピックがもし開催されて、無観客の場合はよくないが制限しつつ運行されるとなればそういう情報もいち早く。去年のチケットを持っている人が市内にもいる。そういう方がワクチン接種してコロナ対策を施した上で、宣言が解除された場合は新幹線より飛行機のほうが移動時間を短縮できるので、そういった時の情報はどうか空港会社と打ち合わせなどはできているか。

商工労働課長

オリンピック関係については正直、向こうも情報整理ができない。飛行機に乗っていて感染する事例はほぼないので、そういうことを最大限PRしたらどうかとも話したこともある。安全性を保ってしっかり利用してもらうことは、お互い情報発信しながらやっぴいこうと話している。

オリンピックに関することはどうなるかわからないので、情報をにらみながら適時情報提供していくことになろうかと思う。飛行機自体、全く予約が入らない状況である。乗れない心配というよりもきちんと飛ぶかの心配のほうが強い。情報収集と情報提供をしっかりしていきたい。

道下委員

高齢者を対象にワクチン接種が進んでいる。7月には全高齢者に打つと考えている。ワクチン接種が進む中でそれに対応する利用率回復に向けての考え、方向性、戦略は示されていないのか。

商工労働課長

高齢者には7月末にほぼ終わるようにと国から指示が出ており、浜田市でも準備を進めている。それ以外の皆がどうなる

道下委員	<p>か不透明である。状況をにらみながら、適時対応はしていきたい。ワクチン接種をしたから飛行機に乗れるとかいったことは論議に至っていない。</p> <p>ワクチン接種が進めば飛行機に乗って移動する人は増えてくる。オリンピック絡みもある。今から対応策を考えておいて当然ではないか。</p>
商工労働課長	<p>時期的にそれがいつできるかはわからないが、ある程度移動ができる時期になったときに、しっかり利用促進が図れるよう関係機関と準備を進めている。</p>
笹田委員	<p>5番の今年度の取り組みについて。萩・石見空港利用拡大促進協議会の中で、浜田市関係というのがある。大阪線新規開設とあるが、これについて伺う。</p>
商工労働課長	<p>二次交通の関係で、今タクシーを運行しているが、これまで東京便だけだったのが今年度から拡充して大阪便も運行して取り組むこととなっている。昨年度まで大阪便が運行しておらず今年からは大阪便のときも運行させると。浜田三隅に寄って空港まで行くと。大阪便が夏限定で便数が少ないが今年はそのを行うということ。</p>
笹田委員	<p>大阪便が飛ぶのはもう確定しているのか。</p>
商工労働課長	<p>現状は確定している。コロナの状況によって減便となる可能性はあるかもしれないが。</p>
串崎委員長	<p>ほかにあるか。</p> <p>(「なし」という声あり)</p>

(3) 令和2年度 はまだ産業振興機構活動実績について (報告)

串崎委員長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
産業振興課長	<p>(「なし」という声あり)</p>
串崎委員長	<p>委員から質疑はあるか。</p>
道下委員	<p>全体実績が、コロナ禍で総額は600万円増額しているが、新規が2500万円減額しているが、どういう内容か。</p>
産業振興課長	<p>新規金額が減ったとの指摘だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により関東・関西からのバイヤー招聘、あるいは機構の職員の現地での営業活動が困難だったため、既存取引先に例えば商品ガイドの営業メールによる非対面型営業をしている関係で新規の金額が落ち込んでいる。既存取引先に重点を置いて営業したということ。</p>
道下委員	<p>その他のところで1000万円増額になっているが、この内容は。</p>
産業振興課長	<p>飲食業の実績が減少している一方、増加要因は産地とスーパーをつなげるスマホアプリを使用して取り引きする新しい販売形態を取り入れた卸しとの扱いが大きく伸びたためその他の金額が増加した。。</p>

道下委員
産業振興課長

それはコロナ禍のリモートワーク的なものか。

コロナ禍ならではの伸びだと思ふ。スマホで直接、産地とスーパーをつなげる取り組みなので、新年度もこういうものに重点を置いて販路拡大する必要があると思っている。

川上委員

コロナの状況でリモートになりやすいが、浜田から広島へ行って営業活動をする可能性があるのか。

産業振興課長

はまだ産業振興機構においては広島へは直接営業活動は行っていない。広島事務所で営業活動している。

川上委員

直接的に営業活動をしなければならない場合があるかと思ふ。対面の必要性が出るのが、契約書への押印の場面とか。その場合、非常に注意を要する。対応策として先にワクチンを打っておくなどは考えなかったのか。

産業振興課長

ワクチン接種を先にとの話だが、順番もありそこまで考えが及ばなかった。今後スタッフがワクチン接種したら、営業活動を積極的に行っていきたいが、それまでは非対面のメールや電話での活動を行っていきたい。

笹田委員

卸業で関東の件数が8件減っているが、金額は増加しているのは何か大きな取り引きがあったのか。

産業振興課長

件数は減ったがスマホアプリを使用した卸の伸びがかなり大きかった影響である。

笹田委員

関東に限定したアプリなのか。

産業振興課長

今のところは関東専門である。

笹田委員

このようにやれば増加が見込めると重々わかっている中で今後関西やその他も機構として広げていけばと思うが、対策を何か考えているか。

産業振興課長

令和3年度についてもこちらの卸の形態を調べて、こういうところで販路拡大をしようとスタッフ一同思っている。

野藤委員

卸売業その他の分で、約4000万円はほとんど水産品だと思うが、塩干物とか練製品とか内容がわかれば。

産業振興課長

鮮魚のみである。

串崎委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(4) 令和2年度 浜田港の概況について (報告)

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

産業振興課長

一番上の令和2年浜田税関支署管内貿易概況については、浜田税関支署において作成された。参考にござんいただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

過去最高の数字の部分もあって結構だが、クルーズ船が令和2年度は中止で、予定としては令和3年度の夏に入ってくる予定だとのことだが、クルーズ船飛鳥Ⅱ、1か月くらい前に船

- 内で感染者が出て、途中で中止となり帰ったということがあった。あくまでも予定は継続を前提としてよいのか。今までは寄港された場合は歓迎セレモニーを漁港周辺施設で開いたが、そういった内容も変わり、今まではツアーを津和野方面だとか浜田市内の観光、三宮神社の石見神楽を見てもらうとかを企画している。歓迎の仕方が前とは全然違う。計画がされているのならコロナ禍でおもてなしがどのように変わっていくのか。どのように考えているか。
- 観光交流課長 主催する郵船クルーズから一部発表があり、6月30日まで出発するクルーズは中止が決定している。7月1日以降にどうなるかはまだ正式な発表がない。よって寄港は未定である。
- ただ、浜田港振興会ではおもてなしする方向で検討を進めているが、飛鳥Ⅱも徐々に浜田港へ来るに当たり、当然ガイドラインを定めて厳しい条件の中で運行計画を予定している。我々はおもてなししたいが、郵船クルーズも感染を防ぎたい方向で、どの程度までおもてなしできるか、主催の郵船クルーズと協議していきたい。
- 布施委員 郵船クルーズとの協議を進めることも大切であるがコロナ禍でも見せ方、おもてなしの仕方があると思う。浜田に来たらこういう蔓延防止策をして。石見神楽もソーシャルディスタンスをとって見せることを予約制で行っているが、コロナ禍で浜田だからこういうやり方をやると植えつけることが、今後の営業活動に影響していくと思っている。コロナだからこういうことをしておもてなしをするのだということアピールすれば。普通企業であればやったことに対する評価が私はあると思う。そこを考えることも大事。一番心強いのは前任の産業経済部長が浜田港振興会にいるので、連携を取って密に、今のうちに。今回中止の可能性はあるが次のためのアクションが大事だと思うが。
- 観光交流課長 浜田港振興会には前任の産業経済部長がおり、1、2週間に1回の割合で打ち合わせも行っている。浜田だけでなく石見9市町でおもてなしできないか、各まちの特色を出したツアーも郵船クルーズへ提案中である。浜田市も三宮神社での神楽や、アクアス、豊ヶ浦ツアーも提案しているが、企画も具体的な調整が進んでない。郵船クルーズは石見銀山散策ほかという内容でホームページに掲載している状況である。先方のツアー担当の方と打ち合わせしながら、三宮神社での神楽と言ったがこちらも緊急事態宣言発出の中で5月分は夜神楽が開催できていないがそれまでは感染対策を行ってお客さんを迎えていた。クルーズのお客さんについても同様の対策をとりながらおもてなしができないか引き続き検討する。
- 川上委員 輸出が増えるのはよいが木材が約1.5倍になっている。周辺

産業振興課長

の木材市場での木単価が上がりつつあると思う。そうすると木材加工業者に影響がきて、最終的にはプレカット単価が高くなる。建築単価自体が高くなる影響が出てくると思うが、何か調査はしているか。

令和2年度について、木材の輸出がかなり伸びているが、現状輸入だが、バルク船を利用しているのが1社と聞き取りしている。現在、浜田港の材木輸入取り扱いに影響を受けていない。今後状況を把握していきたい。

川上委員

浜田港そのものはそうかもしれないが、先般も大田の市場では木単価が高くなってなかなか入手しづらいという記事もある。建築にどうしても影響してくるので、どのような状況かくらいは捉えていたほうがよい。

産業経済部長
串崎委員長

調査して把握したい。
ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 令和2年度 ふるさと寄附の実績について (報告)

串崎委員長
ふるさと寄附推進室長
串崎委員長
川上委員
ふるさと寄附推進室長

執行部から補足説明はあるか。
(以下、資料をもとに説明)

委員から質疑はあるか。
せっかくなので返礼品ベスト10を出してほしかった。

口頭ではあるが、品名となると事業者名などがあるのでそれを除いたものでよいか。

川上委員
ふるさと寄附推進室長
布施委員

長くなるので、よければ資料にして再配付いただきたい。
了解した。

前年度は下回ったがコロナ禍の中、内食需要が高まって売り上げがある程度ある。それが原資となってワクチンのいろいろな施策や子ども支援に使われている。我々も広報はするが市民に向けて、原資はこういったところから来ているとPRしていただければ。都住在住の関係者からの協力を見込めると考えている。リピーター対策としてはがきを紹介されたが、遅いくらいだ。ふるさと納税を浜田市はこのように利用させてもらっていると併せてPRすべきだと思っているが、どう考えているか。

ふるさと寄附推進室長

貴重なご意見に感謝する。原資として全小中学校に感染予防対策グッズの配付などに早速活用できている。ウェブでもそうだが、お礼状などを同封し、皆に賛同いただけるようPRしていきたい。

布施委員

礼状で一番うれしいのは「ありがとう」の気持ちである。言いやすいが面と向かっては言いにくい。市長の直筆など、何でもよいから入れたら効果があるのでは。

1ページ目下に、「特産品の募集を随時行い、特産品選定委

- 員会において約200アイテムを認定追加し」とある。200アイテムの追加で選定の基準、多ければ多いほどよいかもしれないが反対に選びにくい気がするのだが。選定基準や地域性など三つも四つも選定基準があるのか。
- ふるさと寄附推進室長 募集要項を定めており、それには総務省が示すふるさと納税のガイドラインに沿ったものである。浜田市の産品、原材料、加工、浜田市に事業者があるもの、また市長が特別に認めたもの、関東・関西での浜田市産品を使ったレストランの食事プランも、産業振興課と連携し、2年度は2か所のレストランに新規加入していただいた。関係課と連携して推進していきたい。
- 布施委員 募集要項があってクリアしたものは認定するのだと理解した。上位は鮮魚など浜田の水産を代表するものだと思っているが、アジ、ノドグロ、イカもそうだが漁獲量によって需要に追いつかない部分が出てくるのでは。ふるさと納税で頼まれた方でリピーターは、再度ふるさと納税で頼む方と、店に直接頼む方がいると思う。その分析もしていると思うが。原魚は需要に追いつくほど確保されているのか。
- ふるさと寄附推進室長 事業者訪問でいろいろな状況を伺う中で、できているところと難しいところとさまざまある。希少な価値のある浜田のどんちっちブランドもPRしながら、ウェブ展開もしていきたい。原魚は漁獲量に左右されるので、心配している。
- 布施委員 ふるさと納税においても、原魚がなく出荷ができない場合は、断るのではなく予約や受け付けはされるのか。
- ふるさと寄附推進室長 事業者と相談し、寄附は受け付けたがいざ送るときにないということが防がねばならない。事業者から確保できる数量を伺ったものについては、現在も先行予約で受け付けている。
- 笹田委員 10億円超えたのは評価しているが、全国的に昨年度はコロナ禍でふるさと寄附が増えたと同っている。この結果昨1年度浜田市は113%ということで4月については増加している。今年度の4月の状況を知りたい。
- ふるさと寄附推進室長 4月の状況だが、対前年で72.7%。1000万円の減で大変厳しい状況である。新型コロナウイルス感染症対策として農林水産省の補助事業を活用したものが3月から始まっており、当市においても参加できるよう検討している。
- 笹田委員 浜田市のふるさと寄附は当初から頑張って10億円をキープしている中、継続するのは難しいのだろうが踏ん張っていたき、あらゆる手を尽くして今年度もキープしていくのだという形で、いろいろアンテナを張って寄附を集めて市民に還元できるよう頑張っていたきたい。
- 串崎委員長 ほかにあるか。
(「なし」という声あり)

(6) 令和2年度 広島事務所活動実績について（報告）

串崎委員長
広島事務所長

執行部から補足説明はあるか。

広島県では現在も緊急事態宣言が発令されており、交代制勤務をしているが令和2年度も広島県独自の感染拡大警戒宣言などにより、4月16日から5月31日、12月7日から翌令和3年2月21日まで交代制勤務を行った中で営業活動を行いつつ、職員自身が新型コロナウイルスに感染しないよう心がけてきた。

令和2年度は今までの活動によって得た企業とのつながりを生かし、電話・メールを活用した営業に努めてきた。

令和3年度は引き続き、電話・メールを活用した営業や、オンラインを活用した取り組みを行っていききたい。

串崎委員長
川上委員
広島事務所長

委員から質疑はあるか。

販路開拓の下に内訳があるが、これは何か。

全体の成約件数にかかるカテゴリ別に金額を分けてわかりやすく表示したものである。

川上委員

令和元年度と2年度とで「その他」が大幅に増えている。その他とはどのようなものか。

広島事務所長

その他は、さらにカテゴリが分かれており、グローサリーや日配品、デリカ、お菓子、お酒などを含めたものをその他としている。内訳についてはまた調べて報告したい。

川上委員

その他のどのようなものが特段増えたのか知りたかった。主なものを知りたい。特に増えたものについて。

産業経済部長

グローサリーのおにぎり、寿司用のシャリに関して広島のスーパ向けに浜田の企業がつながったことが大きかったのではと記憶している。

川上委員

そういうことがわかれば記入いただければうれしい。畜産がゼロになっている。井野であれだけの会社ができているのに畜産ゼロとは、何か理由があるか。

広島事務所長
串崎委員長

令和3年度はぜひ力を入れてセールスしたい。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(7) 令和2年 浜田市農業産出額について（報告）

串崎委員長
農林振興課長

執行部から補足説明はあるか。

令和2年は前年に引き続きこれまでの最高額を更新し44億9,763万7千円。対前年比で15%、金額にして約5億9700万円の増額となった。主な要因としては表の上から3段目、浜田メイプル牧場の本格操業による生乳売り上げが約5億7千万円の増。また子牛売り上げが約1億1100万円となっているところが大きい。

また昨年、振興作物の一つに追加した有機野菜も、2300万

円の増となっている。

一方そのほかの品目についてはほとんどが減少となっている。中でも3果樹のうちの赤梨、西条柿においては春先の乾燥に加え6月の急激な降雨などによる落下、開花期の低温による大幅な着果不良となったことから記録的な収量減となり、ブドウを含めた3果樹の合計でいうと1億260万3千円、対前年比でマイナス40%、金額にして約6600万円の大幅な減額となった。花卉と観光農園においては新型コロナウイルスの影響によるイベント自粛や観光客減少により、大きく減少している。全体的に浜田メイプル牧場の本格操業による算出額全体で伸びているが他の品目については新型コロナウイルス感染症の影響や天候不順の影響を大きく受けている一年となっている。

串崎委員長
飛野副委員長

委員から質疑はあるか。

品種のうち7割が減少しているのが気になる。西条柿、赤梨が減った要因について説明があったが、原因をつかんでその対策をとっているか、次の年も大丈夫か。

農林振興課長

西条柿、赤梨の減少は天候の影響が大きい。対策とのことだが、今年も特に赤梨と西条柿が、4月の霜によって大きな被害が発生している。今年の被害状況はこれからの生育状況を見ないとわからない部分もあるが、現時点で赤梨が約6割、西条柿が約3割、ブドウやイチジクも一部被害を受けている。

飛野副委員長

少しでも天候不順の影響を少なくするために、天候不順の影響を減らせるかという営農指導や営農活動継続のための支援についてはJ Aや島根県と連携して対応を協議中である。

天候の影響は防げないと決めつけがちだが、浜田市の主な産品である柿や梨が年々そうなる可能性もある。何らかの対策が考えられる部分もあるのでは。それだけ重要だと捉えていただきたい。

農林振興課長

4月10日の大霜で大幅にやられた。あのようなことは防げないかもしれないが、対策はしっかりやっていないことには明るい数字は出てこないのでは。補足はあるか。

おっしゃるように、農業は天候や自然環境に影響されるところが大きく、どうしても生産者の努力で回避できないことも多い。去年の天候不順や今年の霜被害など、過去の状況を見ると、島根県の普及部やJ Aにも確認したが本当に何十年ぶりレベルの被害だったようだ。

布施委員

そうしたあらゆるリスクに対応するため、国では収入を補填する制度として収入保険制度を設けている。現在加入が少ない状況だが今後の生産者の経営安定を図るためにも、収入の減収補填をする部分、保険への加入促進を図っていきたい。

ハウス栽培はあまり天候に左右されないらしいが、トマトは前年から470万円マイナスである。TCトマトに進出しても

- らいトマトは今までより生産量が上がってアップしたのでは
 と思っていたが反対に減少している。コロナの影響も考えら
 れるがトマトは時期によっては出ていくものだろうし何か特
 別な要因があったのか。
- 農林振興課長 施設系野菜については天候の影響を受けにくい。トマトは
 TCトマトがほとんどなのだが、水の問題がある。過去何度
 か議会でも報告しているが、井戸水に鉄分やマンガンが多
 いため今年水道水に変えている。改善はしてきているが、令
 和2年の生産量は昨年より伸びているものの単価が下がり、
 結果として販売額が下がっている状況。
- 布施委員 水の問題は初めて聞いた。井戸水への物質混入は初めから
 わかっていたのか、懸念されていたのか。今後の分譲につ
 いてもかかわってくるだろうが、どのように考えているか。
- 農林振興課長 TCが入られる段階で井戸水の調査はしている。その時点
 で若干マンガンや鉄分が多い状態ではあったのだが、TCト
 マトさんは水耕栽培で水のことは調べたがその時点の判断
 では問題ないとされた。ただ、その後できが悪いため再調
 査したときに、マンガンの量がかなり増えていた。詳しい
 要因まではわからないが、それが影響して令和2年に水道
 水に切りかえた。
- 布施委員 水耕栽培だとそういう部分がかかなり問題になってくるが、
 露地でやる場合はそこまでは問題ない。
- それがわかった以上は何らかの科学的根拠の部分で要因
 があると思っている。しっかり調査しておいてほしい。
- もう一つ、産直市場の売り上げが載っているが、黒川店が
 何%で、周布店が何%か。
- 農林振興課長 産直市場の内訳であるが、黒川店が1億4800万円、周布店が
 1879万、あとはまんてんなど。
- 布施委員 ほぼ市街地での売り上げだと。前年より下がっているが金
 額的には大差がない、安定的な売り上げである。黒川、周
 布店だけでなく他の店舗も寄与していると思う。質問した
 のは、出荷数が少ないとか天候不順で農産のものがな
 いとか言われる部分がある。断り文句の一つかもしれない
 が。この数字だけ見ると極端に悪くない。産直市の出荷取
 り扱いについてはJAと話しているか。
- 農林振興課長 JAとは随時話をしている。確かに今年若干減ってはいる
 が、順調に推移しているものと考えている。
- 川上委員 先ほどの広島事務所の報告事項でも確認したのだが、農業
 産出額の中に生乳と牛、これはメイプル牧場だと思
 うが、これは広島事務所として扱っていないから先ほど
 は出なかったのか。
- 農林振興課長 出荷先までは確認していないので、また確認する。

川上委員

せっかくなので、松永牧場は東京や大阪でも有名なので、広島でも扱っていただく必要がある。

農林振興課長

トマトは約8千万円の売り上げだが、あれだけの施設で8千万では即赤字だと思う。営業的に大丈夫なのか。

川上委員

おっしゃるとおり、あれだけの施設でこの金額は、当初計画から見ても低い金額となっている。営業的にも厳しいところにあるが、水の問題や営農指導の部分は県からも新しい普及員が来られて、しっかり立て直しを図っていくとのことで、県と一緒にやって営農改善を進めている。

農林振興課長

せっかく水の話が出たので確認するが、当初は井戸という話だったと思う。それが水道に変われば、井戸より水道のほうが単価が高くなる可能性があるのだが、市としてその辺のカバーは考えているか。

川上委員

確かに井戸から水道にして水道料がかかっている。いつの議会だったか詳細は把握していないが、水道水の部分について市から補助金を出している。何年か分かは市で補助を出している。その補助が切れてからもしっかり経営ができるよう、営農指導をさせていただいている。

農林振興課長

市から補助が出ている。それは間違いはないか。

川上委員

補助金を出している。

農林振興課長

井戸水の予定が水道水に変わったために単価が高くなるから補助金を出すのだろうが、もう一度井戸を掘る考えはなかったのか。そうするとトマトは助かると思うのだが。

川上委員

恐らく今の土壌的にどこを掘っても同じような水が出るのではという判断だと思う。詳細な経緯は承知していない。

何が言いたいかという、井戸水でないと経営的に難しいという話だったと思う。何年間か補助を出すかもしれないが、それ以降はまともに水道代を払うとなると非常に経営が難しいだろう。事実、先日行ったら水道の話になるとむきになって回答された。それだけ水に対しては思いがあると思う。

産業経済部長

せっかく誘致した企業なので、大事に育ててもらいたい。同時に地域の水道を使うので、住民に影響が出ないようにしていただくことが大切である。今福地区の約5分の1の水をあそこが使っている。非常に影響が大きいので何かよい方法で井戸水が掘れて影響が出ないようにしていただければうれしい。何か考えをお持ちか。

川上委員

水のことはこの間上下水道部長からも話があり、冬季・凍結時には使用量を控えるお願いもしないといけないと話している。上下水道部とも話しながら対策を進めたい。

今の言葉が出たので産業経済部へお願いしておきたいのだが、雲城地区の企業とは協定を結ばれているが、TCについては使い始めもわからなかったし協定も結んでいないと。な

- 産業経済部長 ぜかという井戸を掘るはずが井戸がだめだったから水道にしたという経緯があるので、市としては弱いかと思うが、住民の生活水を使うので、しっかり協力いただくよう協定を結んでいただきたい。
- 産業経済部長 協定については上下水道部と企業とも協議を進めながら、検討していきたい。
- 笹田委員 赤梨がかなり打撃を受けているが、浜田市としてどう捉えているか。
- 農林振興課長 赤梨についてかなり、2年連続で被害を受けている。今回は確かに天候の影響が大きいのだが、赤梨はこれ以上の規模拡大が難しい中、生産者の高齢化や後継者不足もあり、これから産出額増加を図っていくのは大変厳しいと認識している。すぐに効果が出る具体策はなかなかない状況だが、まずは老木化が進んでいるので、果樹の新植・改植を進めるとともに、現在はジョイント栽培も導入して何とか園地の維持を図りたい。
- 笹田委員 また農業全般に言えることだが、営農活動を安定的に継続するためには、個々で頑張るのではなくオペレーターや農業機械の効率化も考えていかねばと思っているし、集落営農の推進や生産者団体の広域連携、生産者同士の連携なども進めなければと思っている。これらすぐに効果が出るものではないので、少しずつでも着実に進めていきたい。
- 笹田委員 赤梨は旭が合併前から地域の売りとして頑張っている。高齢化が進み、収入がないと継続が難しいと言われていた。地域の特産と言っても過言でないと思うが、より協力的にしっかり支援していかないと。老木化のこともあったが切りかえの計画も立てないと地域の特産が減っていく。2年連続被害が出て、もし今年も減少すると継続が難しくなってくるのが目に見える。すぐに効果が現れるようなことをしないと、2、3年度には梨農家が激減している可能性もある。どのようにお考えか。
- 農林振興課長 大変厳しい状況だと思っている。まずは果樹の新植・改植を進めるのと、ジョイント栽培が、園地を維持するために必要である。収入については収入保険制度を活用してもらい、何とか補填して安定的な経営ができるよう加入促進していきたい。
- 農林振興課長 認定農業者や梨の生産者の中でも何人かは認定農業者になって中核的な経営体としてされているところもある。そういう方と周りの生産者の連携を図っていく。すぐに効果が現れる妙案がないのだが、皆と相談しながら経営ができるように連携を図っていきたい。
- 串崎委員長 ほかにあるか。

(「なし」という声あり)
 暫時休憩とする。再開は11時35分である。

[11時 25分 休憩]
 [11時 34分 再開]

(8) 漁業別水揚げについて (報告)

串崎委員長 水産振興課長	執行部から補足説明はあるか。 1点補足する。どんちっちアジは5月23日から出荷が開始された。
串崎委員長 道下委員	委員から質疑はあるか。 2ページの国府の一本釣りがかなり増えている。これはそもそも何かあったのか。
水産振興課長 串崎委員長	特に増えた要因は把握していない。 ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(9) 浜田漁港周辺エリアの施設整備状況について (報告)

串崎委員長 水産振興課長 串崎委員長 布施委員	執行部から補足説明はあるか。 (以下、資料をもとに説明) 委員から質疑はあるか。
水産振興課長	3月に仲買棟が一部オープンしたときより感染者が出て、今は余計に状況が悪い。グラウンドオープンしないと相乗効果が難しいと委員会と言ったが、オープンすると決めたということは何かあってもこの日にやると理解してよいか。 もちろん第一ビルサービスと協議して、これ以上延ばせないだろうと。入っていただく予定の業者と仲買業者ともに了承いただいている。
布施委員	4号荷さばき所だが、7号ができたときに産業観光、競りを見ていただくのに水産都市浜田としてよい部分があるが7号ではそれができなかった。4号については産業観光ができるよう回廊をつけて、競りや荷揚げができるように。高度衛生なのでいろいろな雑菌が入ってはいけないのでその辺にも配慮するとか。食育のために部屋を設けて子どもの調理実習ができる場所なども整備してと、前の委員会のときに提案したと思うが、それらについてどのように考えているか。
水産振興課長	4号荷さばき所には見学スペースを2階に設け、競り場が見渡せるような状況にはなっているので、産業観光についても積極的にPRして、お魚市場とも連携できる仕組みを考えていきたい。 食育についても小学校では今でも見学を受け入れている。浜田でとれるお魚の紹介など。まだ実現はしていないが、さ

川上委員
水産振興課長

ばき方なども考えていきたい。

4号の岸壁耐震化工事は順調か。

もちろん発注に当たっては県との調整も必要である。岸壁工事も順調に進みスケジュールどおりに完成すると考えている。

川上委員

順調なのは非常に喜ばしい。特殊工事が始まると県外から作業員が入ってくるだろう。コロナ対応について県などと打ち合わせはされたか。

水産振興課長

具体的にコロナ関連の協議はされていないので、また確認したい。

川上委員

三隅の火電に今3千人くらい行っている。宿舎がある方はよいが、ホテルに泊まっている人もいて、重なると思う。どこかでコントロールしておかねばまずいのでは。ぜひ対応策について島根県に確認していただきたい。

野藤委員

これから7月になれば臨港道路が始まる。臨港道路は地元業者が施工すると思うがその辺もコントロールしてもらいたい。

お魚市場のグランドオープンに向けて、イベントの実施として第一ビルサービス以外の、近隣施設の連携イベントや、海の日なので水産高校の船の乗船体験や、そのような企画をお願いする予定はないか。

水産振興課長

現段階ではここにある状況しかお示しできないが、今ご意見をいただいたのでワーキンググループ、プロジェクトチームでも意見を踏まえて協議していきたい。

野藤委員

ぜひ海の日をキャッチフレーズにグランドオープンされるので、何かちなんだような体験もあれば違うと思う。ご検討いただきたい。

道下委員

商業棟のフードコートに3店舗が決まっていて、店舗を選定するのに随分難儀されたという経過があったかと思う。予定の和食・洋食・中華として選定したのか、どういう流れでこの3店舗になったのか。

水産振興課長

市とすれば水産物を使った店舗という考えは伝えている。その上で第一ビルサービスが入ってもらえる業者を当たった。なかなか発表できなかったのは、オープン時期が遅れたのも一つの要因だが、2月くらいにはあらかじめ店舗も決まり話が徐々にできる状況になったのだが、なかなか発表機会がなかった。

道下委員

臨港道路の改良について、旧仲買市場のほうへせり出す格好になるのだが、あそこは交差点が複雑な形になっている。あのあたりはどのようになるのか。

水産振興課長

両端の交差点があり、前の全面道路は通行どめになるが、この交差点はなるべく通行できるように検討している。片側通行になるかもしれないが、その両側は通行はできるような

道下委員

形。仲買売場の前面道路については通行どめになる。

工事が完了したときの交差点の状況は。現状は一時停止とか表示があってわかりにくいという声があるがその辺もっと複雑になるのでは。

都市建設部長

臨港道路をどのような形にするか県とも協議させていただき、市の建設整備課で設計していた。当然公安委員会と協議して、どういう交差点がよいかは島根県の公安委員会が示すので、形状について指導いただき、それに基づいて設計し工事する。今の交差点を少し南側に振る形になるが、公安委員会が了承した交差点になる。

串崎委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(10) 浜田市ふるさと体験村施設の活用について (報告)

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

川上委員

9月ごろを目指すとのことだが、特別にこれ以外に考えていることがあるか。

弥栄産業建設課長

資料で示しているように、これに関連すると条例改正、施設改修の補正予算、指定管理関係の提案となろうかと思う。

川上委員

メインとなるふるさと交流館は活用しない形で書いてあるが、ふるさと交流館は今後どういう形で取り組むのか考えがあるか。

弥栄産業建設課長

交流館と隣接する大浴場は、過去いろいろ検討してきて、やはりかなりコストがかかるということで、運営は当面休止という形でいきたい。

川上委員

当面休止ということは将来的には使う考えもあるということか。

弥栄産業建設課長

実は交流館側への電源供給だが、高電圧のものを使用しているがキュービクルの老朽化などでかなりお金をかけないとそれが復帰できないことがわかっている。そういった現状を考えると、今後そこに市が投資して使うのは難しいのではと

思っている。それがわかった上で民間事業者なりがみずからお金をかけてでも活用したいということなら、そういう可能性は排除するものではない。

串崎委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(11) その他

串崎委員長

執行部から何かあるか。

水産振興課長

「まき網漁業の状況と水揚げ確保対策について」の資料に基づき説明する。

吉勝丸の第一吉勝丸が海難事故にあったのは3月11日ではなく3月8日の間違いである。失礼した。

吉勝丸はまずは事業再開を目指すと報道にもあったが、実質4月26日付けで役員・従業員を除いた乗組員全21名が自主退職あるいは解雇となった。乗組員は全てやめた状況である。すぐには操業再開できない状況である。会社で将来的な方針については協議している。

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長
野藤委員

委員から質疑はあるか。

非常に厳しい状況には変わらない。漁場が形成されるのが一番よいのだが、入港するのも近隣漁港との魚価を比較して入港すると思う。魚価対策、ドック、船を上げる設備が老朽化しているとか、制御、それに関係する鉄工所関係など、そういうものもかなり船団は見るので。何か起こっても浜田で対応できないなら入ってこない。そういうことも含めて説明、誘致することも必要では。

水産振興課長

ドックはJFが運営しているので、JFに受け入れ体制をしっかりとさせていただくようにまず働きかけになる。魚価だが、アジは境港より魚価はよいと言われる。

例えば日御碕の競合港となるのが浜田港と境港。山口県三島沖、博多唐津、松浦なども競合港となっている。ぜひ浜田に来ていただけないか、そういう視点で検討している。

魚価については相場があるので難しいが、ブリやワカナなどは処理能力の高い境港が選ばれる。ただしやはり決め手は魚価を見るようである。総合的に考えてどういう支援策がよいか検討している。

野藤委員

燃油などはセーフティネットでもある。プラスそれにかわるインセンティブ、例えば博多に入らず浜田に入ること、同じ距離なら入ってもらおうインセンティブを考えることも必要かと思う。

水産振興課長
笹田委員

ご意見を踏まえて検討させていただく。

非常にきつい状況である。水揚げ確保対策で吉勝漁業と協議中で吉勝の方針によっては支援策を検討することのことだが、これが決まってから新たな事業経営体を組成するのか、並行しながらうまくいけば2か統増えると考えてよいのか。

水産振興課長

吉勝漁業の状況がこうならなければ前に進まなかった。市の考えとしては、吉勝漁業ともう一つあり、もう一つ地元まき網が必要だろうと、JFの会長から言われて、もちろん市長もその考えである。今は支援策もない中でいろいろなルートで浜田でやらないかという話をしてきたのだが、今1か統

笹田委員

だけなので、吉勝漁業がどうなるかわからないが、並行してやっていく必要があると考えている。

相当厳しいと思う。浜田漁港は古くなってきて、船の管理にはあまりよいイメージがないので、その整備も並行して必要になってくるのではと個人的に思う。

あと地元外のまき網船を誘致するとのことだが、かなりのインセンティブがないと難しい。日御碕で取ったものをわざわざこちらに水揚げするとか、博多に近いのにわざわざこちらまで来て水揚げするとなると、魚価が相当変わらない限り実際にはあり得ない。浜田で水揚げするとなるとかなりのインセンティブがないと揚げてくれない。どこでも揚げてくれとポートセールスをしている。その中で6月補正に上程といわれたがどのようなインセンティブを市は考えているか。

水産振興課長

検討の一つには、水揚げ実績に対する奨励金である。金額は検討中である。浜田に来るまでの燃料代も踏まえて、やり方とすれば水揚げ金額に対する幾らかの奨励金の形で検討を進めている。

笹田委員

それがほかの漁港と比較して、プラスになればやってくれるだろうが、奨励金のほうが高いのであれば。船はそんなに速くないので遠くで水揚げして近くに揚げたいというのは当たり前の話で。しかもすぐに漁に出られるので浜田からまた現地まで行くことになるのかなりのプラス材料がないと難しいと思う。課長が言うように漁場が近くに形成されるのが一番だが、それがなければ県外船に来てもらうのは、今の状況ではかなり難しい。6月の提案内容がわからないが相当な覚悟がないと県外船誘致は難しい。しっかり考えていただき、浜田の漁港で水揚げのない港とならないような支援を考えていただきたい。

水産振興課長
串崎委員長
産業経済部長

意見を参考に進めていきたい。

ほかに執行部から何かあるか。

国県重点要望事項について、県知事要望分についていつから始まったかということでお答えする。1番の海上自衛隊が平成28年度。2番の米軍機平成25年度。3番の石油・天然ガスが平成31年度。4番の地域交通が令和4年度の新規。5、6、7、8については合併以降ずっと。9番の教育も新規である。

串崎委員長
水産振興課長

ほかにあるか。

漁業別水揚げについて、道下委員から国府の一本釣りが増えた要因について質疑があった。昨年に比べワカメの数量が5トンとれている。今年はよかった。特にアワビ、ケンサキイカが増えた。

9 串崎委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

商工労働課長

笹田委員
串崎委員長

以上で執行部からの報告事項が終わった。6月4日の全員協議会へ提出し説明すべきものを決定したい。執行部の意向を確認する。

(9)浜田漁港周辺エリアの施設整備状況について、(10)浜田市ふるさと体験村施設の活用について、この2件を報告したい。

最後のまき網の件も報告いただきたいのだが。

笹田委員から案が出た。委員の皆はそれでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では3件を全員協議会にて報告いただく。

2. 所管事務調査

(1) 浜田港周辺の整備状況について

串崎委員長
水産振興課長
串崎委員長
布施委員

続いて浜田港周辺の整備状況について報告いただく。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わった。委員から質疑はあるか。

漁港周辺のみなとオアシスの考えだが、新たな企画やそういったものを、今決まっている分については計画性があったが、これにかわるような事例、中長期についてこれをやるべきという部分が、漁港活性化、ワーキング勤務やいろいろある、そういうところの提案なり、我々委員会の中で今からやるような、大きな事はできないが提案したら入る余地はあるのか。

水産振興課長

みなとオアシスの考えは、港が整備されて関係者だけでなく一般客・観光客にも開かれたにぎわい創出を生む場所という目的で制度がある。山陰浜田港公設市場、はまだお魚市場が中核施設となっている。あともう一つは浜田ポートセンターだがあれは事務所的なものなので、にぎわい創出となると中核施設はまだお魚市場を拠点にして港のにぎわいを図っていく必要があると思っている。

それでは今後どうするかは明確に決まっていはいないが、ワーキングであったりプロジェクトチームの中で肉づけしていきたい。今、拠点となるはまだお魚市場で定期的に月1回は何かにぎわいイベントをしたいということで、市の考えも示しながら、前回のワーキンググループで話をさせてもらった。にぎわい施設として、渚の交番beと体験事業という観点で連携ができないか具体的な話を進めようかと思っている。港周りでにぎわい創出をするのはよいことだと思うので、相乗効果や競争力が生まれて盛り上がればよいと思っている。何とかはまだお魚市場を拠点に具体策を考えていきたい。

布施委員

ドローン活用して農産物や宅配を届けることを美郷町で試験的にやっている。水産浜田として、鮮魚までとは言わないが調理したものをドローン活用して中山間に配送するなど、

串崎委員長

そういう発想はできる気がするので研究して。県有地の第1線、2線、3線があったが県有地でもドローン離発着場所として確立する。輸送が農産物や宅配便に限られているが水産都市浜田として水産物を、買い物難民に定期的に運ぶ。そういう運送業者と手を組んで、新たなみなとオアシス活性化のために、実現可能かわからないがチャレンジすべきである。

これは今までの経過であって目新しいものがない。全国で注目してもらおうと思えばよそにはないみなとオアシスの取り組みをしていくことが大事だと思う。可能性があるものはアンテナを伸ばして。これだけ漁獲量が減ったら、関連商品も売り上げを伸ばさないと、水産都市浜田として弱い。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

所管事務調査を終了する。

3. その他

串崎委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、執行部は退席いただいて結構である。
暫時休憩する。

《 執行部退席 》

[12時 32分 休憩]

[12時 38分 再開]

4. 産業建設委員会の取組課題について（委員間で協議）

串崎委員長

前回の委員会で各委員から提言に盛り込みたい項目があれば提出いただきたいと申し上げていた。出された委員の気持ちなどをお聞きしたいので、追記された内容について各委員からの説明を受けたい。

川上委員

中についてはこれでよいが関係人口について少し手を加えた。遠くの関係人口と近くの関係人口の取り扱いをしっかりと考えていただきたいということを、この中にうたいたいと思ったのでそれだけ加えた。

野藤委員

原案という形で送ってきたので、全体的に追記したところもあるが、そういう形で私は直した。

関係人口と周辺エリアの⑤は、後半部分に浜田応援団の組織があるので積極的にかかわっていただきたいのでこのように書かせてもらった。

文章の流れ的にはこれがよいと思って⑥の高度衛生管理型

- 荷さばき所はこのように書いた。来られた方へのおもてなしということでボランティア組織、以前紺屋町におられた方が競り場の見学ということでボランティアでいろいろされていたがそういった組織があったほうが、ただ市場へ行って見てくれというだけではだめなので、こういうことが必要だと思った。景品と書いてあるが例えばどんちっちステッカーなどを使ったものなどを来られた記念品にどうか。全体的には委員長の案をもとにしているので取捨選択してほしい。
- 飛野副委員長 基本的には委員長の出した内容でよい。ただ少し文言を変えている。あと⑦のプロジェクトについては私の考えと違うので全体的に自分の思いを書いた。ご検討いただきたい。
- 布施委員 加筆というより、提言1から出店関係、販促、その他の部分で今日も報告があったが書かせてもらった。初めは加筆にしていたので文章が繋がらなかった。
- 道下委員 目的のところ、そういう目的で提言するというのを強く言っておきたい。お魚市場は第一ビルサービスが指定管理を受けてやっているの、顧客獲得のための分析を考えた上での販促策として集客を求めている。提言4はその周辺のもの活性化について述べた。
- 笹田委員 書いてあるとおり、2点ほど。強い文言で入れていただきたい。
- 川上委員 委員長の文言で大丈夫だと思った。
- 飛野副委員長 いろいろ意見が出た。加筆・訂正もあったので、その点をつかんでもらい正副委員長でつくっていただきたい。「最後に」を入れていただければと思う。
- 串崎委員長 私も同意見である。諮ってほしい。
- 皆にいただいたものを正副委員長で見直して、新たにつくったものをまた皆に見ていただいて進めていく方向でよろしいか。
- (「異議なし」という声あり)
- そうすると、次に集まるのは6月18日、それに間に合えばそこに出す。できるだけ早く副委員長とまとめて皆にお示ししたい。
- 川上委員 せつかく6月18日があるので、ぜひ間に合わせていただきたい。
- 串崎委員長 できるかぎり間に合うよう頑張る。
- ではこの議題は以上で終了する。

5. はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について

(委員間で協議)

- 串崎委員長 4月12日の全員協議会で、議会広報広聴委員会から集約した意見を所管委員会へ割り振り、各委員会で取り扱いを協議す

ることとして説明がなされた。これを受け、議会広報広聴委員会から所管委員会宛てに通知をいただいている。依頼内容は2件ある。1件目、寄せられたアンケートの意見等についての協議結果及び結果を、6月21日までに議会広報広聴委員会へ報告することとしている。その後9月1日のはまだ議会だよりに記載されるとのことである。

2件目ははまだ議会だよりに記載している読者アンケート特集ページを活用して、調査を行いたい項目について。こちらはこのページを活用して、委員会活動で聞きたいことでの活用を求めるものである。

まず1点目の、読者アンケートに寄せられた意見について、当委員会には4件振られているので確認いただきたい。これについて皆どのような意見か。

川上委員 4件とも考えて意見を出していただくのが一番よいのでは。それをどこかで取りまとめたほうが。

串崎委員長 6月18日にそれぞれ。

川上委員 それまでに意見を出す。

串崎委員長 21日には決めなければならない。18日までに出していただきたい。15日ごろまでに出していただき、整理して、18日に皆の意見を見ながら、議会広報広聴委員会に出すということでしょうか。

串崎委員長 暫時休憩とする。

[12時 49分 休憩]

[12時 51分 再開]

串崎委員長 委員会を再開する。これについては6月15日までに皆の思われる形のを事務局に提出いただきたい。お願いします。

以上で全ての案件が終了したが、これで委員会を終了しても構わないか。

(「はい」という声あり)

では、以上で委員会を終了する。

[12時 53分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行